

入山心得

1. 鉛子谷は流れ谷と
共に鈴鹿ではとても
厳しい谷であるので、
入山には慎重を行
動をとること。
2. 好天で水量の少ない
日を選ぶこと。
3. 47°N 以上のザイル10^m
は必要である。
4. 下山は、特に三段の滝
を巻く道がよく判ら
ないこと。大滝と叫喚の
通過が危険である。
5. 昼食のほかに予備
食としてパン・みかん
など持参する。

三段ノ滴は
高巻ノが安全
ガ決メノ右横
の金斗面ノ上ノ

巻キ糸冬って、
ガラ=谷出合って、

高巻道へよ「登る」↑
谷を飛んで「左側」
(右岸)は、草付きの
斜面だが岩棚を
利用し、慎重に登
る。岩造が「ゆる

鈿子大滝付近詳細

○当日は名古屋 6:30 急行 → 伊勢治田 7:58
 桑田行きバス 8:00 → 桑田 8:10 で歩く。
 (現在バスは 9 時過ぎ)

いせはった
伊勢治田駅より
林道終点(中休所)までは、
歩いて1時間30分

だいに 谷
し 子
ちよう 銚
ベテランの

入山,
545.11.22
546.10.17
546.10.24
551.4.25
556.11.8

縮尺 1/5000
(等高線は省略)

3 S51.4.25(日) 調査作成 奥村光信

三重県員弁郡北勢町